

授業科目名	薬剤師論
授業科目名(英)	The role of the pharmacist
教員名	恵谷 誠司、山崎 博史
開講年度学期	2021年度 後期
曜日時限	月曜1限
開講学科	薬学部薬学科
授業形態	講義、演習
単位数	2.0
学年	3年
科目区分	専門科目
単位区分	必修
授業概要	<p>患者・生活者のために薬剤師が果たすべき役割を自覚する。医療と薬学の歴史を認識するとともに、様々な分野での薬剤師の姿に触れ、国民の健康管理、医療安全、薬害防止等における役割を理解し、薬剤師としての使命感を身につける。また、世界における薬剤師の位置づけなども踏まえ、将来の社会における薬剤師の役割を考え、実行に移す態勢を整える。</p> <p>【実務経験教員による授業】</p> <p>1. 本科目の担当教員である山崎 博史は、県内の病院にて、薬剤管理指導、薬剤の適正使用や薬害防止のマネジメント、新薬の開発、薬学的視点に基づく処方設計と提案など、現場から得られた経験を伝える。今後も勤務する臨床の現場で進んでいく薬剤師の役割についても伝える。</p> <p>2. 本科目の担当教員である恵谷 誠司は、</p> <p>① 離島医療：長崎県五島列島福江島での病院薬剤師として、また、鹿児島県薩摩川内市甑島診療所医薬品等管理指導業務の従事経験を有す。</p> <p>② 学校薬剤師：鹿児島市内の幼稚園・小学校・高等学校・養護学校及び三島村・十島村小中学校の学校薬剤師としての従事経験を有す。</p> <p>③ スポーツファーマシスト：鹿児島県体育協会医・科学委員、鹿児島県薬剤師会ドーピング防止相談ホットラインとして、競技者からの相談対応、国体参加競技団体等に対するドーピング防止講習会講師等の従事経験を有す。</p> <p>④ 災害医療：国際緊急援助隊医療チーム・国際緊急援助隊感染症チームに登録。国内（中越地震、東日本大震災、熊本地震）、国外（2013年フィリピン台風被害、2019年モザンビークサイクロン被害）の医療支援の派遣経験を有す。また、日本災害医学会災害薬事（PhDLS）研修会における管理世話人資格を有し、研修会開催などの経験を有す。</p> <p>⑤ 一般等からの相談（クレームを含む）対応：鹿児島県薬剤師会薬事情報センターにて薬剤師・一般からの薬事情報相談、健康相談対応等の従事経験を有す。</p> <p>以上の活動から得られた経験に基づき、薬剤師職能の広がりとそれらへの積極的なかわりについて伝える。</p> <p>3. 第2回、第8回、第11回の講義に関しては、それぞれの講義内容に沿った現役薬剤師を招き、命と薬剤師の関り、薬剤師職能の広がりについて学ぶ予定にしている。なお、講義形式については、COVID-19の感染状況、講師の移動負担等を判断し、対面形式またはWEB形式でのいずれかを採用する。</p>
達成目標	<p>1. 命にかかわる職能であることを理解する。</p> <p>2. 社会が薬剤師に求める職能を理解する。</p> <p>3. 薬剤師職能の広がりや深みを理解する。</p> <p>4. 薬剤師を楽しむ姿勢を学ぶ。</p> <p>5. 薬剤師としての使命感を身に付ける。</p>

成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3分の2以上の出席を満たしたものが成績評価の対象となる。 ・ 成績評価は、試験（55点満点）と演習・小問（45点満点）にて実施する（合計100点満点）。配点の内訳は次のとおりとする。 <p>【試験】 第1回-15回までの内容について達成目標に関する試験（55点満点）</p> <p>【演習・小問】 ① 第2回、第8回および12回の講義後に演習・小問（外部講師の講義に対する感想文）（5点満点/回 × 3回）</p> <p>＜評価の観点＞ 感動、自己の経験との対比、自分なりの気づき、将来への取り組みへの決意、問題解決の方法 など簡潔かつ分かりやすく綴られているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次の5段階で評価する。 <table border="0"> <tr> <td>グレード 5: 大変優れている</td> <td>5点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>グレード 4: 優れている</td> <td></td> <td>4点</td> </tr> <tr> <td>グレード 3: 良い</td> <td>3点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>グレード 2: やや努力が必要である</td> <td>2点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>グレード 0: 評価できない（未提出）</td> <td>0点</td> <td></td> </tr> </table> <p>② 第13-15回に実施するグループ討議の参加活動状況の評価（担当教員による評価）（10点満点）</p> <p>＜評価観点＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 討議での発言 自分の意見を他者に的確に伝えている。また、グループの方向性に即した意見を活発に述べている。 ・ 積極性：グループ内の作業に対して積極的に取り組んでいる。 <p>上記評価項目に対する評価はグレード5～グレード0に分類し、以下のように行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ グレード 5: 大変優れている 10点 ・ グレード 4: 優れている 8点 	グレード 5: 大変優れている	5点		グレード 4: 優れている		4点	グレード 3: 良い	3点		グレード 2: やや努力が必要である	2点		グレード 0: 評価できない（未提出）	0点	
グレード 5: 大変優れている	5点															
グレード 4: 優れている		4点														
グレード 3: 良い	3点															
グレード 2: やや努力が必要である	2点															
グレード 0: 評価できない（未提出）	0点															
教科書	必要な資料は授業毎に配布する。															
参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要に応じて紹介する。 ・ {日本アンチ・ドーピング機構, https://www.playtruejapan.org/} ・ {日本薬剤師会 薬剤師のためのアンチ・ドーピングガイドブック, https://www.nichiyaku.or.jp/activities/anti-doping/index.html} ・ {global DRO, https://www.globaldro.com/JP/search} ・ {スフィアハンドブック2018, https://jqan.info/sphere_handbook_2018/} ・ {国際協力機構 国際緊急援助, https://www.jica.go.jp/jdr/index.html} ・ {薬剤師認定制度認証機構, http://www.cpc-j.org/} ・ {文部科学省 学校保健の推進, http://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/hoken/} 															
履修上の注意	薬学概論、早期体験学習、薬学倫理、環境と健康1&2、薬事法規・社会薬学、医療人入門、山口県地域医療学1&2、薬剤師業務総論等の授業科目と関連する。本科目を履修するまでに学習したそれぞれの科目、本科目履修後に学習するそれぞれの科目に繋がるよう心がける。薬剤師を楽しむことができるように活かしてもらえればと考える。															
授業計画	<p>授業内容 主なモデル・コアカリキュラムの項目</p> <p>【薬剤師論イントロダクション】</p> <p>【薬剤師職能の普遍化と専門化】</p>															
第1回	<p>1) 薬剤師の歴史と業務内容の変遷について理解する。</p> <p>2) 高度化する医療に対して薬剤師が専門性を持つことの意味を理解する。</p> <p>3) 健康サポート薬局、かかりつけ薬局などにおける薬剤師職能の普遍化の意味を理解する。</p> <p>4) 薬剤師職能の社会への還元（薬剤師としての成果を公表すること等を含む）の重要性を理解する。 A-(1)-(1)-3、A-(1)-(4)-1, 2, 4、A-(5)-(3)-1、B-(2)、F-(4)-(1)、F-(5)-(1),(2)、G-(1)等</p>															
第2回	<p>【患者として生きる薬剤師（死を覚悟した時に如何にポジティブに生きる道を見つけたか）】</p> <p>1. 自身が、がんサバイバーとなった薬剤師が悟った薬剤師としての役割について学ぶ</p> <p>2. 患者の立場になって見えてきたもの</p> <p>講師は、久田邦博 先生（薬剤師）にお願いしています。38歳で慢性骨髄性白血病を発症。治療生活を続けながらも、実にポジティブに様々な場面で活躍されています。知らぬ間に「魔法」にかかってしまうやも・・・</p> <p>* 講師の都合により、実施日が変更になる可能性があります。講義室でのWEBによるリアルタイム講義を予定しています。</p> <p>A-(1)-(1)-1, 4, 5, 6, 7、A-(1)-(2)-1、A-(2)-(1)-1, 2, 3、A-(2)-(3)-1, 3等</p>															

第3回	<p>【ドーピング防止活動と薬剤師（アスリートのコンディショニングとスポーツ医療における薬剤師の役割）1】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ドーピングとは何か、その現状について学ぶ。 2. 国際的なドーピング防止活動について学ぶ。 3. 禁止表国際基準について学ぶ。 4. 薬剤師としてのドーピング防止への係わりを学ぶ。 5. 体育協会、競技団体との連携について学ぶ。 <p>A-(1)-②-7、A-(4)、F-(5)-②、関連Adv-F-⑨等</p>
第4回	<p>【ドーピング防止活動と薬剤師（アスリートのコンディショニングとスポーツ医療における薬剤師の役割）2】 （演習）</p> <p>グループディスカッションおよび発表</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 禁止表に基づき医療用医薬品、一般用医薬品の使用可否を判断する。 2. ドーピングホットラインで実際に受け付けた相談事例を題材として、相談者に対する対応を学ぶ。 <p>A-(1)-②-7、A-(4)、F-(5)-②、関連Adv-F-⑨等</p>
第5回	<p>【学校薬剤師の活動内容と心（姿勢）を学ぶ（環境衛生管理等における薬剤師の職能と意味）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学校薬剤師の歴史について学ぶ。 2. 学校薬剤師の業務内容（含む関連法規等）について学ぶ。 3. 学校医、学校歯科医、体育教諭、養護教諭、学校栄養士等の役割と連携について学ぶ 4. 地域に生きる薬剤師としての学校薬剤師の位置づけについて学ぶ。 離島の学校薬剤師活動などについて合わせて紹介する。 5. 学校薬剤師の心（姿勢）について学ぶ。 <p>A-(1)-①-1、A-(1)-②-1、7、A-(4)、B-(4)-②-3、F-(5)-②、関連Adv-F-⑨等</p>
第6回	<p>【災害時医療支援と薬剤師 1】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 災害時医療支援の際に忘れてはならない心構え（人道支援の基本、Sphere handbook等）について学ぶ。 2. 災害支援の基本について学ぶ。 3. 医療制度の変化に伴う薬剤師の災害支援の在り方の変遷について学ぶ。 4. 災害時医療支援における職能団体の役割等について学ぶ。 5. 災害支援の国内外の災害に対する薬剤師の支援活動事例から災害時医療支援における薬剤師職能、他職種との連携等について学ぶ。 <p>A-(1)-①-②、1、6、A-(1)-③-3、A-(4)、B-(4)-①-5、B-(2)-②-4、F-(3)-③、F-(4)-①、②、F-(5)-②、F-(5)-④、ADV-B-⑤-2、Adv-F-⑨等</p>
第7回	<p>【災害時医療支援と薬剤師 2】（講義と演習）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 避難所での支援活動を想定した演習を実施する。 <p>A-(1)-①-②、1、6、A-(1)-③-3、A-(4)、B-(4)-①-5、B-(2)-②-4、F-(3)-③、F-(4)-①、②、F-(5)-②、F-(5)-④、ADV-B-⑤-2、Adv-F-⑨等</p>
第8回	<p>【離島で活躍する薬剤師】</p> <p>離島僻地で奮闘する薬剤師の姿に触れ、薬剤師に求められるものを学ぶ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 離島医療の現状を知る 2. 離島ならではの薬剤師の活動を知る 3. 離島の良いところ紹介 <p>外部講師として鹿児島県 種子島 田中孝明先生、長崎県 五島列島 田中秀和先生を招聘する予定にしています。なお、講師の先生方は現地からZOOMにてリアルタイムで講義に参加される予定です。</p> <p>A-(1)-②-2、8 B-(4)-②-4、5 Adv-B-⑤-1</p>
第9回	<p>【病院薬剤師】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 病院薬剤師の業務と位置づけについて理解する。 2. 病院内での多職種との連携について理解する。 3. 病院薬剤師の業務の専門化について理解する。 4. 医薬品情報提供、医療安全管理、感染症管理、抗がん剤治療管理、医薬品選定等における薬剤師の役割を理解する。 <p>A-(1)-②-6、A-(4)、E3-(1)、F-(2)-⑤、⑥、F-(3)-②、F-(4)-①等、関連 Adv-F-⑦等</p>
第10回	<p>【薬局薬剤師】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 薬局薬剤師の業務について理解する。 2. 保健医療制度、健康サポート薬局、かかりつけ薬局、在宅医療、地域包括ケアシステムなどにおける薬剤師職能の在り方について理解する。 3. 医薬品の適正使用と安全確保における薬剤師の役割について理解する。 4. 副作用報告、プラセボ報告の重要性について理解する。 <p>A-(4)、B-(2)-②、B-(4)-①、②等</p>
第11回	<p>【製薬企業における薬剤師】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 製薬企業における薬剤師の職能について理解する。 2. 医薬品の研究開発と薬剤師について理解する。 3. 医薬品情報提供者（MR、相談窓口）としての薬剤師について理解する。 <p>A-(1)-②-2、5、B-(2)等</p>

第12回	<p>【いのちのレポート～遺族になった私から伝えたいこと～】</p> <p>1. 親の介護と看取りを通して学んだ医療者に必須の心（姿勢）、その後の薬剤師としての活動の広がりについて学ぶ。</p> <p>* 講師の大森眞樹先生は、熊本地震（2016）、7月豪雨（2020）において熊本県薬剤師会の中心的なメンバーとしても活動されています。</p> <p>* 大変「熱い」先生ですので、「熱さ」が伝染するかもしれません・・・</p> <p>* 講師の都合により、実施日が変更になる可能性があるかもしれません。講義室でのWEBリアルタイム講義を予定しています。COVID-19感染の状況によっては、講師が来校する可能性があります。</p> <p>A-(1)-①-1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, A-(1)-②-1, A-(2)-③-1, 3, A-(3)-①-9, A-(3)-②-1, 2等</p>
第13回	<p>【薬剤師を楽しむ（守破離）】</p> <p>1. 薬剤師を楽しむためのアイデアを考える（グループ討議）</p> <p>講義第1回～12回を通じて学んだ様々な薬剤師の姿、将来的な社会情勢の変化等を踏まえ、将来のなりたい薬剤師像、薬剤師職能を描き、それに向かってのアプローチの仕方、さらなる発展等について、自由に発想する。</p>
第14回	<p>【薬剤師を楽しむ（守破離）】</p> <p>第13回でグループ討議した内容についてプレゼンテーション資料を作成する。</p>
第15回	<p>【薬剤師を楽しむ（守破離）】</p> <p>1. 薬剤師を楽しむためのアイデアを考える（グループ討議成果発表）</p> <p>様々な薬剤師の姿、将来的な社会情勢の変化等を踏まえ、将来のなりたい薬剤師像、薬剤師職能を描き、それに向かってのアプローチの仕方、さらなる発展等について、グループ討議した内容を発表し問題点及び改善案を討議する。</p>
第16回	<p>【試験】</p> <p><出席2/3以上を満たす場合></p> <p>第1回～15回までの内容について、到達目標に関する試験を実施する。 成績評価については、成績評価方法に示したとおりとする。</p> <p><出席2/3未満の場合></p> <p>成績評価の対象としない。</p>
注意	<ul style="list-style-type: none"> 講義資料は、原則として、当該講義の7日～3日前にMOODLEに公開する。各自でパソコンにダウンロードし、講義当日、紙に印刷して持参するか、ノートパソコンを持参し資料を閲覧すること。 各講義前には、自分で調べられる範囲で予習しておく。 <ul style="list-style-type: none"> シラバスおよびMOODELに参考となるWEBサイトなどを掲載しているので、それらを参考にする。 第13-15回目のグループ討論・発表に関しては、予め自分なりのなりたい薬剤師像をイメージし、それに近づくための方策について考えをもって討論に参加するように。 講義後に課す演習・小問に関しては、提出期限を守ることに。 講義の順番および内容は、都合により変更になる可能性がある。 講義は対面での実施を考えているが、新型コロナウイルス感染症の状況によっては、対面とWEBをあわせたハイブリッド型講義となる可能性がある。
オフィスアワー	<p>【山崎に対する質問等】 通常、病院勤務のためe-mailにて受け付ける。</p> <p>【恵谷に対する質問等】 月曜日～金曜日、午前10時～午後5時、6号館3階 恵谷研究室まで。または、e-mailにて受け付ける。</p> <p>なお、会議、出張等で不在の場合があるので、e-mail似て事前に連絡し調整するように。</p>
ナンバリングコード	
授業コード	99P4316